

名古屋経済大学 コミュニティプラザ

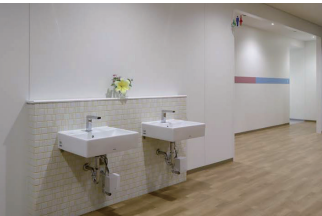


外観

名古屋経済大学の犬山キャンパスにおいて、学生たちのオアシス的な存在。1Fには学生食堂、2Fには総務部、学務部、広報センターなどの事務部門とアメニティ施設としてブックショップを有する。



1F 食堂・トイレ前
手洗いコーナー



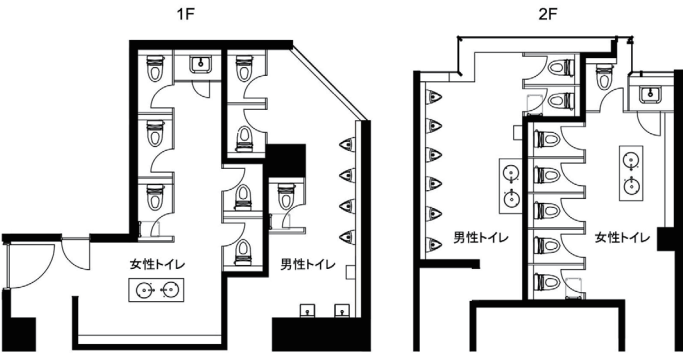
衛生意識の高まりから新設された手洗いコーナー。食事後などにもトイレに入らずに手洗いできるため、トイレ内の混雑緩和も期待できる。



1F 女性トイレ
洗面・
スタイリングコーナー

アイランド型の洗面コーナーには鏡を設けず、非接触で手洗いできる自動水栓を採用。壁側に、化粧直しや身繕いに配慮したスタイリングコーナーが設置され、手荷物用のフックも完備している。

トイレ図面



水まわりの特長

改修の経緯

名古屋経済大学は、1907(明治40)年、創立者・市邨芳樹氏が設立した日本初の女子商業教育を実践する名古屋女子商業高校をルーツとする大学である。1983(昭和58)年には男女共学化、2000(平成12)年には名古屋経済大学大学院を開学。現在では大学院、大学、高等学校、中学校、幼稚園を擁する総合学園として、17万名余の卒業生を送り出している。今回トイレ改修されたコミュニティプラザは、犬山キャンパスにあって、教室、附属幼稚園が所在する「内久保校地」に位置。1Fには学生食堂、2Fには総務部、学務部、広報センターなどの事務部門とアメニティ施設としてブックショップを有する。同キャンパスは、隣接した3校地に分かれており、学習活動・体育活動がワンキャンパスで完結している。

トイレの特長

大便器はすべて洋式化され、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。洗面コーナーは主にアイランド型で、ベッセル式洗面器には、非接触で手洗いができる自動水栓を設置している。また、女性トイレには化粧直しや身繕いに配慮してスタイリングコーナーを設け、洗面空間の混雑緩和を図っている。各フロアによって、トイレの意匠アクセントとなるタイルの幾何学文様を統一しながら、そのタイルや壁のカラーを変え、個性ある魅力的な空間に仕上げています。また今回の改修工事では、2Fにバリアフリートイレを新設。さらに、昨今の衛生意識の高まりを受け、食堂やトイレ入口前に、手洗いコーナーが新設されている。



1F 男性トイレ
小便器コーナー

床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を採用。近くには手荷物配慮としてステンレスの棚を設置している。また、小便器背面のタイルの幾何学文様は、女性トイレとコーディネートされている。



2F 女性トイレ
洗面・
スタイリングコーナー

各フロアによって、トイレのタイルや壁のカラーを変え、個性ある魅力的な空間に仕上げています。



2F 女性トイレ
大便器ブース

大便器は、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。ボタンを押すたびに発電するエコリモコンを設置している。また、男女各1ブースに、フィッティングボードも用意されている。



2F 男性トイレ
洗面コーナー

ペニンシュラ型の洗面コーナー。近くには手荷物配慮としてステンレスの棚が設置されている。

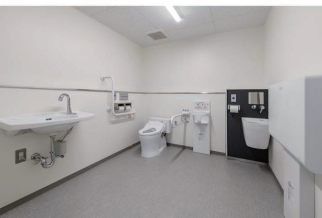


2F 男性トイレ
小便器コーナー

1F同様、小便器背面のタイルは女性トイレとコーディネートされ、さらに、新しいタイルの幾何学文様は、既存のガラスブロックとも違和感なく溶け込んでいる。



2F バリアフリートイレ



2Fに新設されたバリアフリートイレには、オストメイト配慮やお子様連れ配慮の器具を完備。入口には、性的マイリティをはじめ、さまざまな利用者が使いやすいように配慮されたピクトを掲示している。

建築概要

名称	名古屋経済大学 コミュニティプラザ
所在地	愛知県犬山市内久保61-1
施主	学校法人市邨学園 名古屋経済大学
設計	宇野・東畑設計企業体
施工	建築 株式会社シンエイライフ 設備 有限会社古屋設備
竣工年月	(改修)2022年5月
敷地面積	65,000.00㎡
建築面積	2,198.70㎡
延床面積	4,262.662㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上2階
おもなTOTO使用機器	
パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498B	
ウォッシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5524A	
自動洗浄小便器:UFS900R／洗面器:L710C、LS703	
台付自動水栓:TLE25506J、TLE26507J	
コンパクトオストメイトバック:UAS81RSC1NB／ベビーチェア:YKA15S	
ベビーシート:YKA25S	